

のだネット通信



中核地域生活支援センター のだネット (千葉県委託事業・野田健康福祉圏域)

TEL 04-7127-5366 / FAX 04-7127-5367

〒270-0235 野田市尾崎840-32 / E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com

<http://homepage2.nifty.com/noda-net/>

中核地域生活支援センター・のだネット 所長就任

これまで所長を務めていた相馬伸男が退任し、10月1日から金城和子が所長を務めます。
これまで同様、ご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

『働きたい』を支援する、地域の連携！！

のだネットを受託して以来、皆様のご協力ご指導のもと10年が経ちました。

障がいのある方の場合は障害者手帳所持の確認をさせていただき、取得したいと希望される方には申請方法の説明や、申請同行支援等をしてきました。手帳を取得している方には野田市役所1階にある「社会福祉法人は一とふる」の『障害者就業・生活支援センターは一とふる』を紹介し、必要に応じて、面談・登録への同行、訓練施設の見学同行をします。職種や職場環境の希望を伝え、面談を重ね、仕事をするための準備をし、就職が決まった後は面談や定着支援をしていただけます。

また、手帳が手元に届くまでや就職が決まるまでの間、生活リズムを付ける為に地域活動支援センター『のぞみ』『きらり』、『さくら』、『すまいる』へ通所する方もいます。

長い間入院していた、長い間引きこもっていた、就職しても長続きしなかった等々、様々な理由で就職が困難だった方たちがご本人の体調に合わせて週に2~3日から始める方や週に5日通う方もいます。センターによって軽作業(試供品やキャラメル装箱詰)が中心の所と余暇プログラムが中心の所があります。

また、「手帳は取りたくないが日中の居場所が欲しい」「少しは働いてみたい」「仲間が欲しい」と思う方達も地域活動支援センターを利用しています。一年以上通う内に障がいを受け入れ精神障害者福祉手帳を取得した発達障がいの方もいます。

地域で手帳未取得の為、就労のサポートが利用できない方達の為に地域活動支援センターは大きな役割を果たしています。

また、就労移行支援事業所「就労サポート・のだ」の利用者の中には、市役所内の喫茶「つくしんぼ」や農産物販売「ゆめめぐり」、船形の「エコセンター」で訓練を受けている方もいます。

スーパー・ファミレス・パン製造・流通センター等々の企業でも多くの障がい者が働いています。一人ひとりの『働きたい』気持ちを大切に、家族・企業・支援機関が連携して『この街で働き、暮らしたい』を地域で支えて行きます。

11月29日(土)13:30より野田市総合福祉会館にて「心の病を抱えながら、就労していくために~今、できることから!」をテーマに障害者就業・生活支援センターの柄澤氏に講演をしていただきます。

この講演会の主催は「こころネット・ハートゆう」という、野田市内の精神障がいに関する団体等が地域の皆様に「こころの病」についての理解を深めるために結成した会です。詳細は紙面のお知らせの欄をご覧ください。

(記・金城)

のだネット運営委員会 開催

平成26年8月21日(木)に運営委員会を開催し、のだネットとグループホーム等支援ワーカーからの昨年度の事業内容と今年度の事業計画を報告しました。委員の皆様から日頃の業務についての疑問点などの質疑応答がありました。

また、今年度はパーソナルサポートセンターの方に事業の概要について説明をして頂ける機会を設けました。「相談は多様で、貧困問題以外の相談にも最後まで聞いて寄り添いながら活動を進めている。アウトリーチを織り交ぜながら困りごとをあぶり出している。」と話があり、基本的には生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図る事業です。

(記:五十嵐)

自立支援協議会 専門部会の経過について

■就労部会

平成26年9月22日の午前中、第2回の就労支援部会が開催されました。今回は、富里、松戸と木更津で行われている「ぷれジョブ」についてを検討しました。

ぷれジョブとは障がいのある子供が地域のジョブサポーター(ボランティア)と、地域の企業で半年間(1週間に1回1時間)、お仕事を体験する活動です。月に1回、定例会で活動の発表をします。

この活動は、平成15年に岡山県倉敷市で誕生し、今では全国21都府県に広がっているそうです。

この活動が目指していることは、障がいの有無にかかわらず、共に助け合うことのできる地域社会(共生社会)の創造とのこと。

今後、就労部会でこの活動について、部会以外の団体の方々の意見も伺いながら検討を進めていく予定です。

(記:五十嵐)

今年から市内の相談支援事業所を紹介しています。今回で4か所目です。

相談支援事業所紹介 サポート芽吹

指定内容:特定・障害児

所在地:野田市下三ヶ尾875-1

連絡先:電話:04-7138-2181/ FAX:04-7138-2182

担当者:日暮

相談受付時間:月曜日～金曜日 9:00～16:00(祝日、・12月29日～1月3日を除く)

担当者より:現在、当法人事業所を利用されている方を中心に計画作成を行っています。今後は地域の方の計画も作成していけるように取り組んでいきます。よろしくお願いします。



※指定内容

特定 ⇒ 計画相談支援(サービス等利用計画作成)

障害児 ⇒ 障害児相談支援(障害児支援利用計画作成)

新規事業所紹介 放課後ディサービス しあわせの木

平成26年10月1日からスタートしています「しあわせの木」を紹介します。

しあわせの木では「こどもたちの笑顔」を大切に元気に楽しく活動することを運営理念に掲げています。活動内容としては、手作りおやつを提供し、土曜日は一緒におやつ作りやドライブをしながら、公園やプールなどで体を動かします。土曜日はおやつだけでなく、昼食(手作り)も提供しています。

季節の行事(お月見パーティー・クリスマスパーティー)や地域のイベント(お祭り等)にも参加します。みんなの大好きな屋台でおこづかいを持って買い物もします。お部屋ではゲーム・DVD・カラオケ・TV・トランプ・読書・パズル等をして楽しく活動します。

学校以外のお友達と食事や遊びや外出を経験する機会にしてほしい、安心できる場所ということをは是非見学して確認してほしいとのことでした。

送迎も対応しますのでお気軽にご相談下さい。



お問い合わせ先:

野田市柳沢56

TEL:04-7199-2741

FAX:04-7199-2742

mail:info@siawasenoki.com

趣味の部屋



自分の作品を見てもらいたいと言う方！
作品はいつでも受け付けていますのでご連絡下さい！！

今回は「こころの作品展」に出展予定だったものを掲載させてもらいました。

★「こころの作品展のお知らせ」★

今年は12月11日(木)～12日(金)10時～14時

北コミュニティーセンター1階 喫茶「四葉のクローバー」で
開催します。

心の病を抱えながら地域で生活している方々の日々の創作活動を披露する機会です。是非足を運んで下さい！！

10時半、12時半、14時にいちいの木職員によるオカリナの演奏会もありますヨ

お問い合わせ先:
のだネット(担当:五十嵐)



ゆったりカフェのお知らせ

障がいの種別は問わず、ふらっと遊びに来れる場を企画しました♪申し込みは不要です。

■今後の予定

※原則第1日曜日に活動していますが11月は第2日曜日、12月は第3日曜日になっていますのでご注意ください！！

11月9日(日) スポーツ(バトミントン) 13時～野田市中央公民館ロビー集合
動きやすい服装で来てください。参加費無料。

12月21日(日) クリスマス会 13時～野田市中央公民館 参加費:300円
(問い合わせはのだネット五十嵐まで)

お知らせ

□平成26年11月8日(土) 14:00～16:00 (開場13:30)

会 場: 流通経済大学 新松戸キャンパス講堂

内 容: 講演会「権利擁護と障害者虐待防止」

講 師 佐藤 彰一氏(弁護士)

お問合せ先: 松戸市障害福祉課 TEL:047-366-7348/FAX:047-366-7613

Eメール: mcshougaihukushi@city.matsudo.chiba.jp

※11月4日(火)までに、電話・ファックス又はメールにて松戸市障害福祉課へ申込み。

□平成26年11月29日(土) 13:30～15:30 (開場13:00)

会 場: 野田市総合福祉会館3階 第3会議室(旧NPOサポートセンター)

内 容: 悩みながら豊かに生きるために! パート2

講演テーマ「心の病を抱えながら、就労していくために 今、できることから!」

講師: 柄澤 隆一氏

(社会福祉法人はーとふる 障害者就業・生活支援センターはーとふる 主任就業支援員)
体験者発表も予定しています。

定 員: 80名

参加費: 無料

主 催: ころネット・ハートゆう

(参加団体: NPO法人子育てネットワークゆっく、NPO法人メンタルサポート野田そよかぜ、地域活動支援センター「さくら」「のぞみ」「きらり」、野田市心の健康を守る会、(株)MARS多機能型事業所マーレ、中核地域生活支援センターのだネット)

申し込み先: 中核地域生活支援センター・のだネット

TEL: 04-7127-5366/FAX: 04-7127-5367

※11月20日(木)までに、電話又はファックスにて申込み下さい。

要約筆記又は手話が必要な方は事前にご連絡ください。

編集後記

最近、精神科の病院から8年ぶりに地域へ退院する支援をしました。退院まで挫折をしながらもようやくひとり暮らしが始まりました。不安を抱えながらも前向きなご本人と常に支えてこられたご家族に感動。毎日を笑顔で暮らせるよう今後も見守っていきたいと思っています。(記: 五十嵐)